



平成 29 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 大平洋金属株式会社  
 代 表 者 代表取締役社長 佐々木 朗  
 (コード番号 5541 東証第 1 部)  
 問合せ先 取締役常務執行役員 菅井 一之  
 (TEL 03-3201-6681)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 11 日に発表した平成 29 年 3 月期通期(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

## 記

## ●業績予想の修正について

## 1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 11 月 11 日発表)	百万円 36,643	百万円 △5,054	百万円 △3,377	百万円 △3,999	円 銭 △20.49
今回修正予想 (B)	38,214	△3,624	△1,580	△2,380	△12.20
増 減 額 (B-A)	1,571	1,430	1,797	1,619	
増 減 率 (%)	4.3	—	—	—	
(参考)前期実績(平成 28 年 3 月期)	47,649	△15,357	△12,283	△38,369	△196.62

## 2. 修正の理由

連結業績予想について、当社フェロニッケル製品の販売数量は、堅調な需要に支えられ、計画通りを見込んでおります。また、フェロニッケル製品の主原料であるニッケル鉱石の調達に関しては、主要調達先のフィリピンにおける鉱業の環境規制厳格化により、一定の環境・福利基準を満たさない一部の鉱山は操業停止等を受けており、先行きに不透明感が残すものの、生産・販売体制に対応した調達が可能と見込んでおります。

価格等においては、主原料であるニッケル鉱石価格は高水準ながらも比較的落ち着いた価格帯が予想され、また、当社フェロニッケル製品の販売価格形成の指標となる当社適用 LME ニッケル価格及び当社適用平均為替レートは前回発表予想参考値を上回る水準が見込まれ、業績に好影響を与えるものと見込んでおります。

そのため、連結業績予想を上記のとおり修正いたしました。

なお、前提条件に関しましては次ページ(参考)前提条件の修正をご参照ください。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(参考) 前提条件の修正

	販売数量 (T/Y)			生産数量 (T/Y)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (平成28年11月11日)	16,447	16,553	33,000	16,425	15,971	32,396	4.17	4.69	4.43	107.18	104.22	105.70
今回修正予想	16,447	16,553	33,000	16,425	16,472	32,897	4.17	4.90	4.54	107.18	106.48	106.83
(参考)前期実績 (平成28年3月期)	17,347	17,178	34,525	18,357	18,335	36,692	5.58	4.20	4.90	120.91	119.02	119.97

以上